



こんにちは。総務担当の伊藤です。皆さんは日ごろ、どれくらいリサイクルを意識されているでしょうか？私はこちらの分別はもちろん行いますが、それとは別に、牛乳パックを近くのスーパ-のリサイクルボックスに持っていきます。

スーパーではよく見かけるこのリサイクルボックス、実は本学でも2025年4月から利用できるようになりました。2024年の「小松安弘記念館」(本学の新館)の完成が縁となり、エフピコ商事株式会社により設置いただくことになったのです。食品トレー、透明な食品容器、ペットボトルが回収され、新しい容器に生まれ変わることになります。食堂前に設置しております。

設置されたボックスの前で、小松代表取締役会長と佐藤利行学長、そして「FOLKLORE」のメンバー



すので、ぜひ家庭にたまってしまいがちなトレーやペットボトルを持ち寄っていただければと思います。

また、このリサイクルボックスをより多くの学生・教職員に利用していただくため、フリーペーパー制作の学生サークル「FOLKLORE」と連携し、エフピコグループについて特集した『FOLKLORE増刊号』も制作しました。お見かけの際はぜひご覧ください！

●地域連携レポート

皆さんお久しぶりです。地域連携担当の力クです。

私からは、2月に本学で初開催した「つれのうて」のイベントについて紹介します。「つれナイって何？」という方もおられると思います。「つれのうて」は「連れ立って」という備後地方の方言です。もともと、福山市まちづくりサポ-トセンター(以下、「まちサポ-」)の方が企画した対話イベントで、最近では福山市内の各地で開催されています。

本学のつれナイは、大学らしく学生も参加してくれました。大学だけでは出せない方とさまざまな話題で盛り上がり、対話の2時間はあっという間。つれナイの決まり事のひとつに「人の



意見を聞いて、自分自身の変化を楽しむ」というものがありますが、これができる、人生においても生きやすさにつながるのかもと私は思っています。この場を借りて、当日の運営を支援くださったまちサポ-の皆さんに感謝申し上げます。

皆さん。「なんとなく誰かと話したいなあ」と思うときは、ぜひつれナイに足を運んでみてはいかがでしょうか。話すのはちょっと...という方も、つれナイの場合は人の話に耳を傾けるだけでも大丈夫。ちょっと覗いてみたいなど、見学なども大歓迎です！



教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

2027年4月、新たに「情報工学部(仮称・設置構想中)」を開設予定。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集